

濁河重要自然維持地域の整備の取り組み

小坂営林署 治山係 ○西 願 貴 敏
" 小 池 春 吉
治山係長 山 本 幸 平

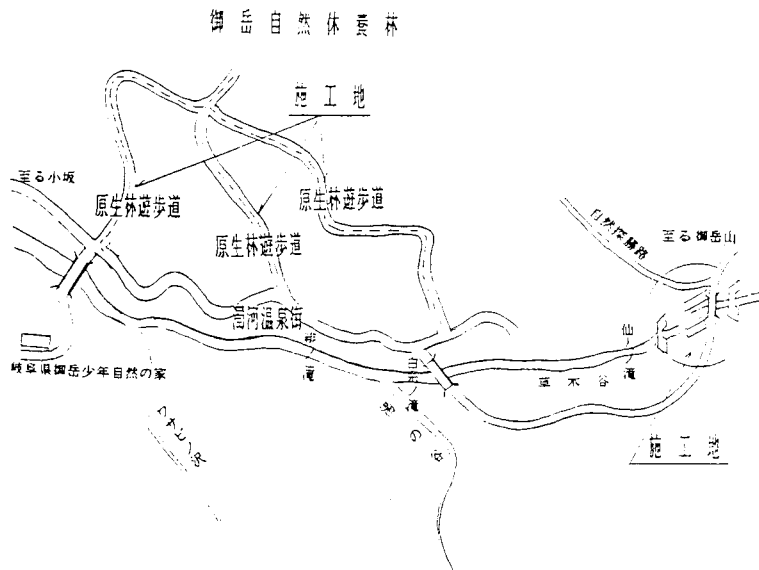
1. はじめに

国土開発が進み良好な自然が急速に失われまた、森林に対する国民の要請が多様化、高度化する中、北アルプスの最南端に独立する御岳山の麓の岐阜県小坂町は古くより霊峰御岳山の登山口としてにぎわい、今日に至っています。

御岳山麓は、亜高山地帯から高山帯にかけて、多種多様な植物が群落を形成し、貴重な動植物が原生の形で残り、訪れる人々を楽しませています。

この貴重な自然を変えることなく、自然環境を維持しつつ、自然探勝や観察・教育の場として利用し、国土保全機能、保健休養機能の量的、質的、充実を図る必要がある。このため、工事計画に当たってコンクリート谷止工をどのような方法で補修するのか、貴重な植物を損傷せず施工するにはどのように

施工位置図



したらよいか、自然
景観と工作物の調和
をどうするか、人工
的な外来緑化はさけ
る等、いろいろ検
討しながら2年間に
わたり施工しました
ので、その結果につ
いて報告します。

2. 施工位置

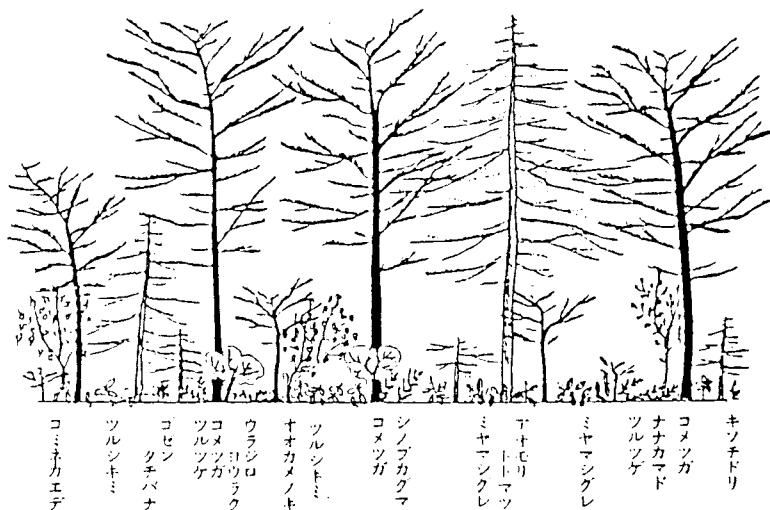
3. 施工地の地況

地質	安山岩
土壌	礫質土
標高	1,720m
山腹平均傾斜度	20度
整備面積	159ha

4. 施工前の林況

御岳山7合目付近の林相

海拔 1,930m



樹種割合 シラベ40%、トウヒ20%、コメツガ6%、ソノタ34%

林 齢 190/20~200

5. 施工内容 (2年間)

種 別	工 種	数 量	等
治山施設整備	堰堤補修護岸工	2基	567 m ³
		一箇所	230 m ²
森林整備	自然林改良整理伐		8.4 ha
付帯設備整備	管理歩道	路盤作設	753 m
		平地片棧橋	69 m
		階段片棧橋	9 m
		階 段	602段
		雑石積	34 m ²
		施工地案内板	1本
	遊歩道案内板	3本	

- (1) 昭和33年に施工された玉石コンクリート堰堤の破壊が進んでいるため、補強を行い土石流の発生及び不安定土砂の流出防止を図り合わせて、下流住民の不安定を解消しました。
- (2) 御岳登山道と草木谷が交差する箇所において、登山者が水に親しんでもらえるよう大転石を利用した、護岸、ベンチを作設しました。
- (3) 濁河温泉街の北東部の原生林を訪れる人々がより安全、快適に自然に接することができるよう遊歩道の新設・改良、掲示板の設置、枯損木の処理をしました。

6. 濁河地区への入り込み者の推移

年 度	夏 季	冬 季	合 計
元 年	62,000	8,000	70,000
2 年	62,000	9,000	71,000
3 年	61,000	10,000	71,000

7. まとめ

- (1) 濁河地域の原生林を訪ねる人々がより自然に接しやすくなり、老若男女を問わず、幅広い年齢層の人々が自然探勝を楽しむことができるようになりました。
- (2) 岐阜県立御岳自然の家に岐阜県の各学校の生徒が訪れ、御岳登山、原生林の野外観察を通じ濁河地区での自然観察教育が盛んになりました。
- (3) 治山工事案内板、遊歩道案内板等を通じ、国有林治山のPRを図ることができました。
- (4) 直接保全対象である濁河温泉街はもとより、下流域の小坂町の保全が図れ、民生の安定に寄与することができました。

以上が私達の取り組んだ重要自然維持地域保安林整備の状況ですが、整備事業地は小坂町から約40kmで片道2時間近くかかる位置にあり、厳しい気象条件下の工事のため、工事期間も短い中での施工でしたが、温泉街の人々、温泉を訪れる人々から励ましの言葉を受け、この事業の重要性、大切さを身を持って知るとともに、この工事によって自然と人とのつながりを深めることができたと確信しております。

今後とも創意工夫しながら、治山事業を進めていきたいと考えていますので、ご指導を宜しく願います。